

平成28年11月18日（金）
地理空間情報の活用推進に関する
北陸地方産学官連絡会議

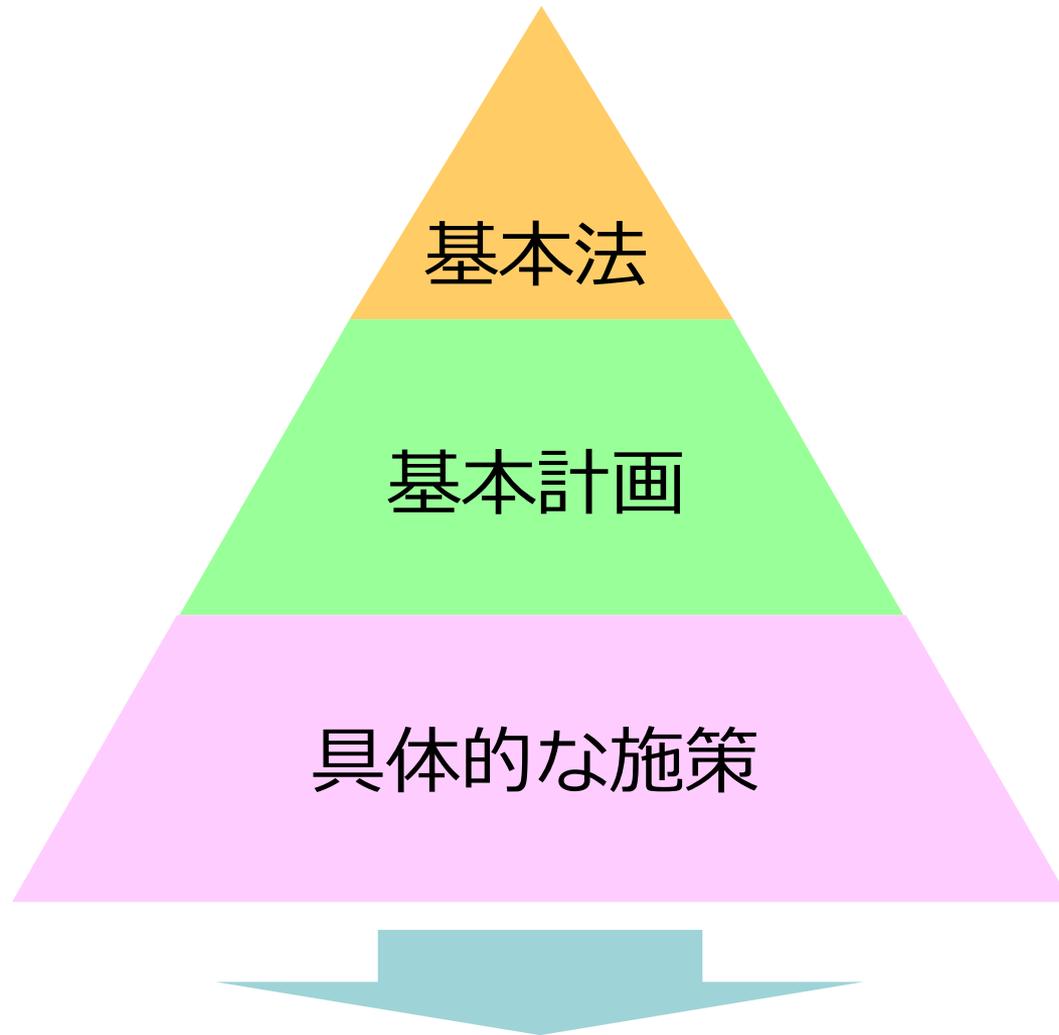
地理空間情報活用に関する最近の取組

～地理空間情報活用推進基本計画、G空間情報センター、G空間EXPO2016～



国土交通省国土地理院
企画部 地理空間情報企画室長
石関 隆幸

はじめに



地理空間情報活用推進
基本法
(平成19年5月30日 法律第63号)

地理空間情報活用推進
基本計画
(平成24年3月27日 閣議決定)

地理空間情報の活用推進に
関する行動計画
(G空間行動プラン)

地理空間情報高度活用社会 (G空間社会)
の実現

○地理空間情報活用推進会議

議長 内閣官房副長官（政務及び事務）
議長代理 内閣官房副長官補
副議長 内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省の各担当局長級
構成員 その他の関係省庁の局長級（**国土交通省国土地理院長**）

（基本法第十条）
政府は、施策の実施に関し、関係行政機関による協力体制を整備する。

○地理空間情報活用推進会議幹事会

議長 内閣官房内閣審議官
議長代理 内閣官房内閣参事官
副議長 内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省の各担当課長級
構成員 その他関係省庁課長級（**国土交通省国土地理院企画部長**）

○地理情報システムワーキンググループ

議長 内閣官房内閣参事官
議長代理 国土交通省国土政策局
副議長 国土交通省大臣官房
国土交通省国土地理院企画部長
構成員 その他関係府省庁課長級

○衛星測位ワーキンググループ

議長 内閣官房内閣参事官
議長代理 内閣府宇宙開発戦略推進事務局
副議長 内閣府、総務省、外務省、文部科学省、
経済産業省、国土交通省の各担当課長級
構成員 その他関係府省庁課長級
（**国土交通省国土地理院企画部長**）

○G空間プロジェクト推進 ワーキンググループ

議長 内閣官房内閣参事官
議長代理 内閣府宇宙開発戦略推進事務局
国土交通省国土政策局
副議長 総務省情報流通行政局
国土交通省大臣官房
国土交通省国土地理院企画部長
構成員 その他関係府省庁課長級

○個人情報保護・知的財産に関する検討チーム

○国の安全に関する検討チーム

○基盤地図情報整備・更新に関する検討チーム

① G空間情報センターの利活用推進チーム

② 防災システム高度化推進チーム

③ IT農林水産業推進チーム

④ 地域・中小企業活性化推進チーム

⑤ 海外展開推進チーム

（基本法第八条）
国、地方公共団体、関係事業者及び大学等の連携に必要な施策を講ずる

連携

地理空間情報産学官連携協議会

産業界

学界

地理空間情報活用推進基本法

第九条 （地理空間情報活用推進基本計画の策定等）

政府は、地理空間情報の活用の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、地理空間情報の活用に関する基本的な計画（地理空間情報活用推進基本計画）を策定しなければならない

2 基本計画は、以下の事項について定める

- 一 地理空間情報の活用の推進に関する施策についての基本的な方針
- 二 地理情報システムに係る施策に関する事項
- 三 衛星測位に係る施策に関する事項
- 四 その他、施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

平成20年：基本計画策定（計画期間：平成20年度～23年度）

平成24年：第2期基本計画（計画期間：平成24年度～28年度）

現行の基本計画について

「地理空間情報高度活用社会」（G空間社会）の実現

誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり、高度な分析に基づいた確かな情報を入手し行動できる社会

国土の利用、整備及び保全の推進、 災害に強く持続可能な国土の形成

変化する国土の状況が適時適切に把握可能になるとともに位置や時間による切り口での様々な解析が可能となる



国土のよりよいマネジメント

安全・安心で質の高い暮らしの実現

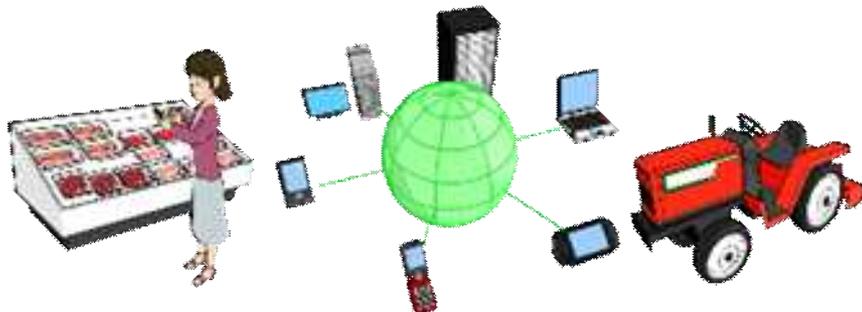
身の周りの様々な情報が、場所と結びつけられ的確な行動や対応を可能とする



安全・安心な暮らし・生活利便性の向上

新たなサービス・産業の創出

屋内外問わず、位置をキーとした様々な情報の融合が可能となることにより、新たなサービスや産業が生まれる



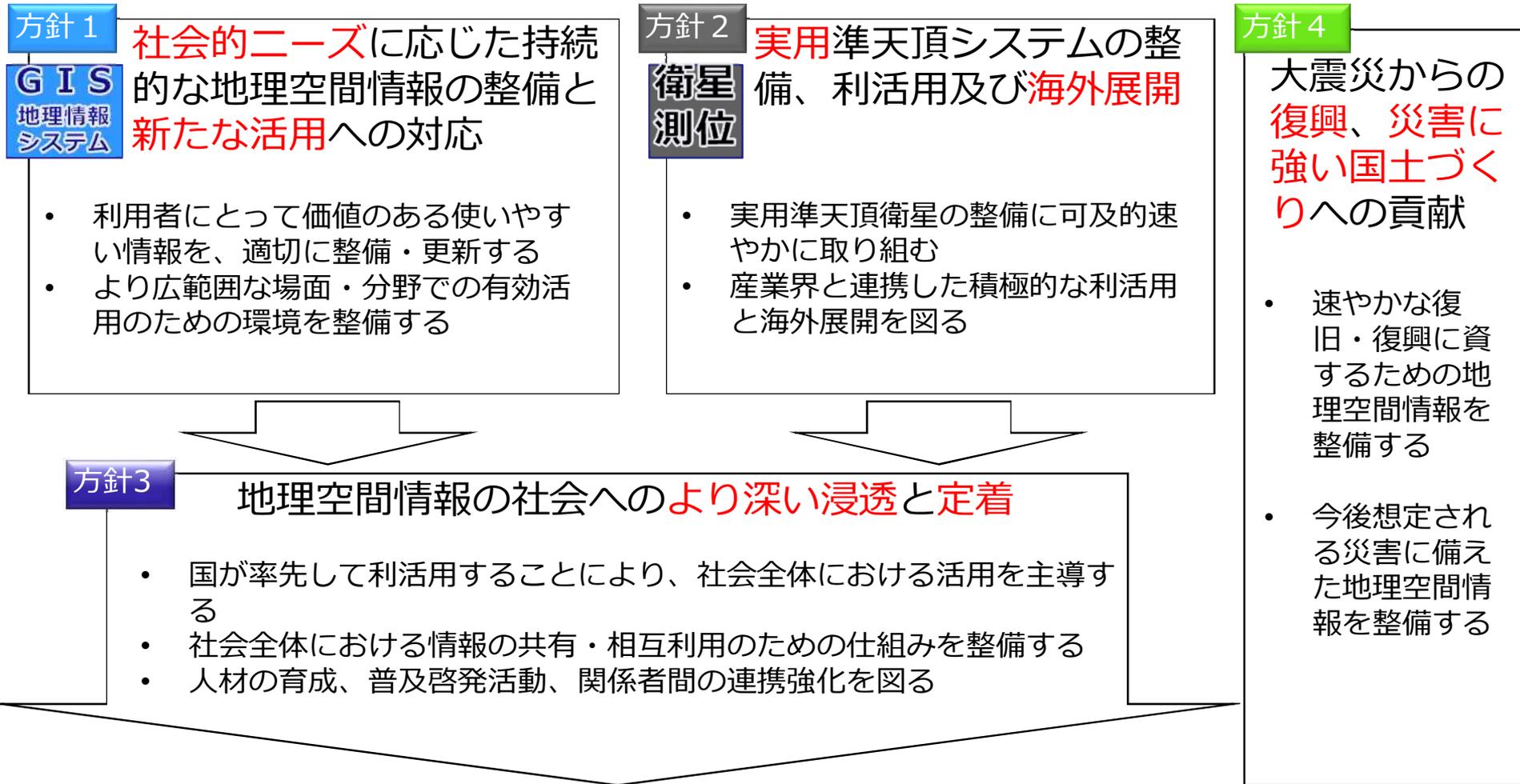
経済や社会に新たな活力

行政の効率化・高度化、新しい公共の推進

行政事務で取り扱う、地域に関する多くの情報が地理空間情報として効率的に共有化され、活用される



多様な主体との連携促進、地域の活性化

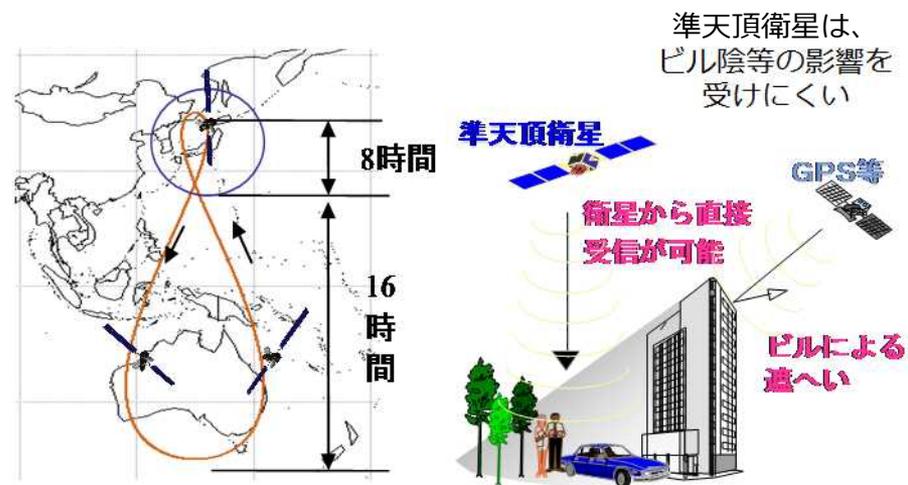


これら4つの方針の実現を目指し、各府省が連携して具体的な施策を実行

社会全体における地理空間情報の活用推進 ⇒ G空間社会の実現へ

実用準天頂衛星システムの整備の推進等

- 実用準天頂衛星システムは、2010年代後半を目途に、まずは4機体制を整備し、将来的には持続測位が可能となる7機体制を目指す



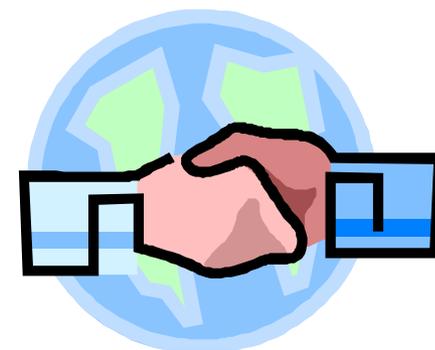
実用準天頂衛星システム等の利活用の推進

- 実用準天頂衛星システムの活用の推進、アプリケーションの開発などを通じた、積極的な利活用を促進する
- 各分野において産業界との連携を図る



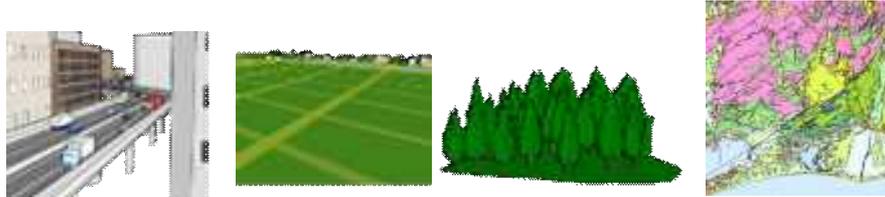
実用準天頂衛星システムの海外展開と国際協力の推進等

- 実用準天頂衛星システムの海外展開を推進するため、産業界と連携を図りながら、国際標準化等の環境整備、監視局の設置・運用、人材育成、アジア太平洋地域に共通する課題に対応した各種アプリケーション開発等に関する国際協力を総合的に進める
- 米国等と、全世界的衛星測位システム(GNSS)の開発及び利用における国際連携、他国GNSSとの共存性・相互運用性の向上を図る



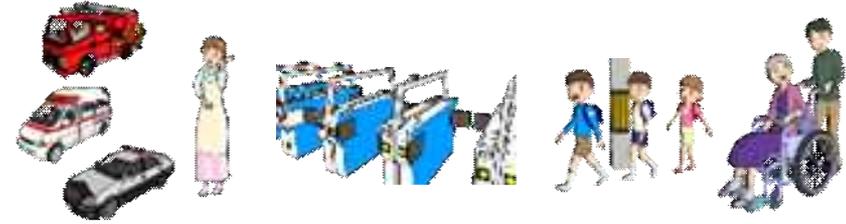
国土の利用、整備及び保全の推進、 災害に強い国土の形成

- 国有林地理情報システムの運用
- 地方公共団体における森林GISの整備
- 生物多様性等の環境保全・保護へのGISの活用
- 資源に関する情報の整備等にGISを活用



安全・安心で質の高い暮らしの実現

- 犯罪情報分析におけるGISの活用
- 110、118、119番等緊急通報における衛星測位の活用
- 衛星測位を活用した航空交通、海上交通の安全確保



国が自ら、公共施策の実施や行政事務の遂行において
GISや衛星測位の活用を積極的に推進

社会全体の
利活用を主導

新たなサービス・産業の創出

- 農作業の軽労化に向けた農業自動化システムの開発
- 省エネルギーのためのITSの実用化を促進
- ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援



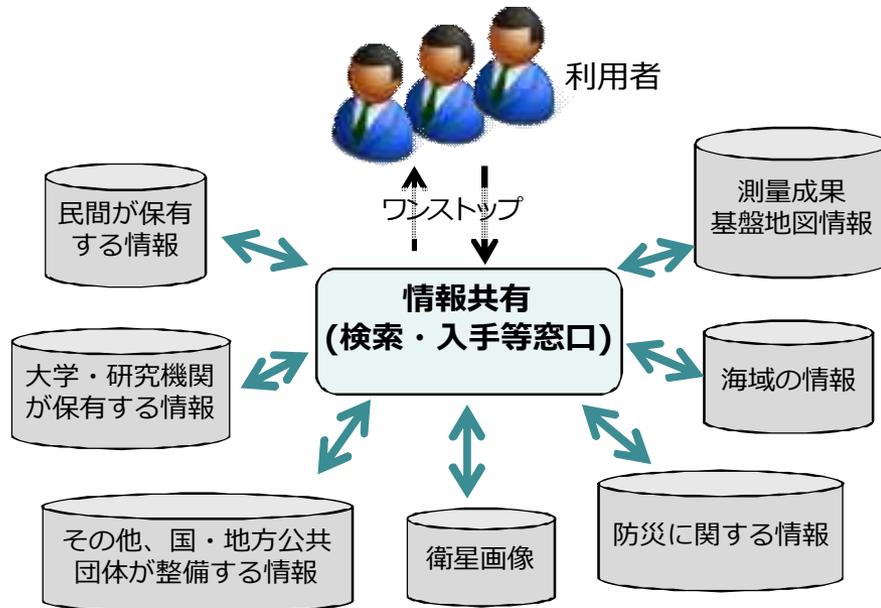
行政の効率化・高度化、新しい公共の推進

- 統合型GISや自治体クラウドにおけるGISの推進
- 国有財産情報公開システム、環境GIS、統計GIS等の運用及び国民への情報提供



地理空間情報の共有と相互利用の推進

- 国や地方公共団体など、多様な主体によって整備された地理空間情報を相互利用が可能となる仕組みを構築



適切な整備・流通・利用のためのルール整備

- 標準化の推進
- 個人情報の保護、データの二次利用等への配慮
- 国の安全への配慮

関連主体の推進体制、連携強化

- 政府が一体となった施策の推進と体制整備
- 国と地方公共団体等との連携強化
- 産学官連携の推進

研究開発の戦略的推進

- 国の科学技術戦略の一部として体系的に実施

知識の普及・人材育成等の推進

- 引き続き、産学官の連携によりG空間EXPOを開催
- 活用推進を担う人材を育成



海外展開、国際的な取組との連携

- 実用準天頂衛星システムのアジア太平洋地域への展開
- 他の技術とのパッケージ化、海外へのソリューションの展開
- 国際会議やプロジェクト等への積極的参画



ここから、最近の取組の話です。

次期基本計画に向けて

地理空間情報活用推進基本法

第九条 （地理空間情報活用推進基本計画の策定等）

政府は、地理空間情報の活用の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、地理空間情報の活用に関する基本的な計画（地理空間情報活用推進基本計画）を策定しなければならない

2 基本計画は、以下の事項について定める

- 一 地理空間情報の活用の推進に関する施策についての基本的な方針
- 二 地理情報システムに係る施策に関する事項
- 三 衛星測位に係る施策に関する事項
- 四 その他、施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

平成20年：基本計画策定（計画期間：平成20年度～23年度）

平成24年：第2期基本計画（計画期間：平成24年度～28年度）

ただいま、第3期基本計画を策定中です！

AI/ビッグデータ/IoT技術を活かした 世界最高水準の地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現

① 人口減少・高齢社会における安全・安心な暮らし

- ・高齢者・障害者等へのモビリティ向上サービス（ゆっくり自動運転）や見守りサービスの高度化（デジタル見守り）等による、安全・安心な暮らしの実現
- ・買い物や医療・健康サービス、各種行政サービス等、住民の身近なサービス分野において地理空間情報が活用され、質の高い暮らしの実現



② 災害に強く持続可能な国土の形成への寄与

- ・地震・津波・水害などの災害に対して、リアルタイムな災害情報の活用等による予測力、予防力、対応力の総合的な強化
- ・インフラの維持・管理において、自動化技術、センサ技術等と連携した省力化の実現
- ・土地利用や動植物等の継続的なモニタリングや地理空間情報に基づく適切な対応等により、人と自然の共生関係の創出



③ 地域産業の活性化、新たなサービス・産業の創出

- ・IT農林水産業、建設現場における i-Construction等による省力化・生産性の向上
- ・地理空間情報を利活用したコンサルティング支援等による新たなサービス・産業の創出
- ・地理空間情報や準天頂衛星などの宇宙インフラ等と連携した自動化技術の進展、小型無人機の運用の社会実装等の実現



④ 海外展開、国際貢献の進展

- ・準天頂衛星システム4機体制の確立等による、高精度な測位サービスと関連ビジネス、人材育成支援等をパッケージ化した海外展開の実現
- ・防災、環境など我が国が世界をリードする分野で、測位サービス等と連携し地理空間情報を活用した国際貢献の実現
- ・オリパラで注目が集まる中、屋内外シームレスな移動支援など地理空間情報を高度に活用する姿を全世界に提示



地理空間情報を高度に利活用するための環境づくり

- ・G空間情報センターを中核とした産学官民による地理空間情報の整備・流通、利活用。
- ・準天頂衛星システムや電子基準点網の高度化等による、屋内外における高精度・高信頼性の測位サービスの活用。





具体的な施策の概要

	項目	具体的な施策の概要
1	高精度・リアルタイムで利用価値の高い地理空間情報を高度に活用するための インフラと環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> • <u>準天頂衛星システムや電子基準点網の高度化等による、屋内外における高精度・高信頼性の測位サービス等の推進。</u> • <u>G空間情報センターへの地理空間情報の登録拡大と流通・利活用を促進。</u> • <u>3次元で高精度な地理空間情報の整備・更新方針の提示と標準化の推進。</u> • <u>様々な分野における納品物の電子化の徹底など地理空間情報の流通を推進。</u> • <u>政策の総合的な調整・推進のため体制強化。産学官連携の一層の深化等のための体制強化。</u>
2	オリパラをショーケースとする高精度の地理空間情報の高度な活用	<ul style="list-style-type: none"> • <u>訪日外国人や障害者等への屋内外シームレスな移動支援などの地理空間情報を高度に活用する姿を全世界に提示。</u> • <u>自動車の自動走行、小型無人機による宅配サービス等について、モデル事業の実施とその後の全国展開、海外展開を支援。</u> • <u>新事業・新サービスを創出するための支援体制を整備</u>
3	くらしの中で実感できる地理空間情報の活用 (国土強靱化、地方創生等への寄与)	<ul style="list-style-type: none"> • <u>国土強靱化や災害対応、インフラの維持・管理等のため、必要なデータの整備・更新と利活用支援等を実施。</u> • <u>農林水産業（IT農林水産業等）や建設現場（i-Construction）において、基盤的なデータの整備・更新・統合や実用化に向けた技術開発・技術移転等を推進。</u> • <u>観光、福祉・健康サービス、国土・自然環境の保全、自治体行政等、様々な分野での活用のため、G空間情報センターやRESASによる支援体制を整備。</u>
4	地理空間情報の利活用による 海外展開・国際貢献等	<ul style="list-style-type: none"> • <u>世界最高水準である我が国の測位・衛星システム等の海外展開・国際貢献等を、人材育成支援などとパッケージ化して積極的に促進。</u> • <u>学校教育から社会人など様々なステージで地理空間情報を高度に活用できる人材育成の総合的なビジョンを構築し、中核的な教育・研究拠点を強化</u>

AI/ビッグデータ/IoT技術を活かした 世界最高水準の地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現

① 人口減少・高齢社会における安全・安心な暮らし

- ・高齢者・障害者等へのモビリティ向上サービス（ゆっくり自動運転）や見守りサービスの高度化（デジタル見守り）等による、安全・安心な暮らしの実現
- ・買い物や医療・健康サービス、各種行政サービス等、住民の身近なサービス分野において地理空間情報が活用され、質の高い暮らしの実現



② 災害に強く持続可能な国土の形成への寄与

- ・地震・津波・水害などの災害に対して、リアルタイムな災害情報の活用等による予測力、予防力、対応力の総合的な強化
- ・インフラの維持・管理において、自動化技術、センサ技術等と連携した省力化の実現
- ・土地利用や動植物等の継続的なモニタリングや地理空間情報に基づく適切な対応等により、人と自然の共生関係の創出



③ 地域産業の活性化、新たなサービス・産業の創出

- ・IT農林水産業、建設現場における i-Construction等による省力化・生産性の向上
- ・地理空間情報を利活用したコンサルティング支援等による新たなサービス・産業の創出
- ・地理空間情報や準天頂衛星などの宇宙インフラ等と連携した自動化技術の進展、小型無人機の運用の社会実装等の実現



④ 海外展開、国際貢献の進展

- ・準天頂衛星システム4機体制の確立等による、高精度な測位サービスと 関連ビジネス、人材育成支援等をパッケージ化した海外展開の実現
- ・防災、環境など我が国が世界をリードする分野で、測位サービス等と連携し地理空間情報を活用した国際貢献の実現
- ・オリパラで注目が集まる中、屋内外シームレスな移動支援など地理空間情報を高度に活用する姿を全世界に提示

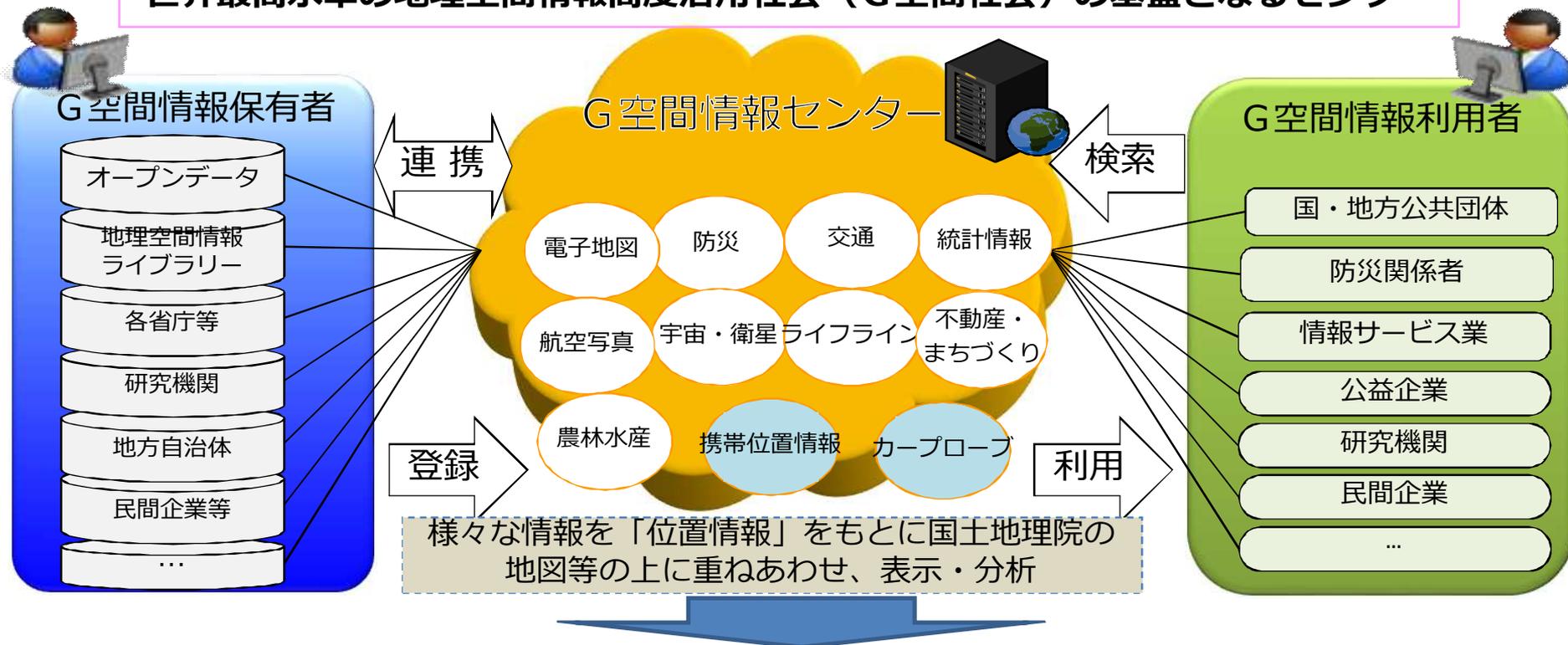


地理空間情報を高度に利活用するための環境づくり

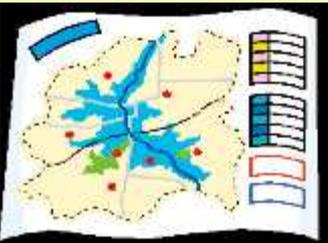
- ・G空間情報センターを中核とした産学官民による地理空間情報の整備・流通、利活用。
- ・準天頂衛星システムや電子基準点網の高度化等による、屋内外における高精度・高信頼性の測位サービスの活用。



世界最高水準の地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の基盤となるセンター



防災



災害発生状況、避難場所等

+



カープープ、コンビニ情報等

(リアルタイムな情報の重ね合わせ)

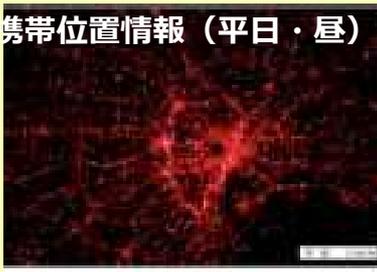
➡ 災害ボランティアの円滑な稼働の支援等

まちづくり、不動産



地価、人口、都市計画規制等

+



携帯位置情報（平日・昼）

時間帯毎の人流等

➡ 不動産取引、出店計画支援等

準天頂衛星システムや電子基準点網の高度化等による、屋内外における高精度・高信頼性の測位サービスの活用

準天頂衛星システムの機能・取組状況（4機体制ベース）

GPSの補完

衛星数増加による測位精度の向上



GPSの補強

衛星測位の精度向上
(電子基準点を活用してcm級精度を実現)



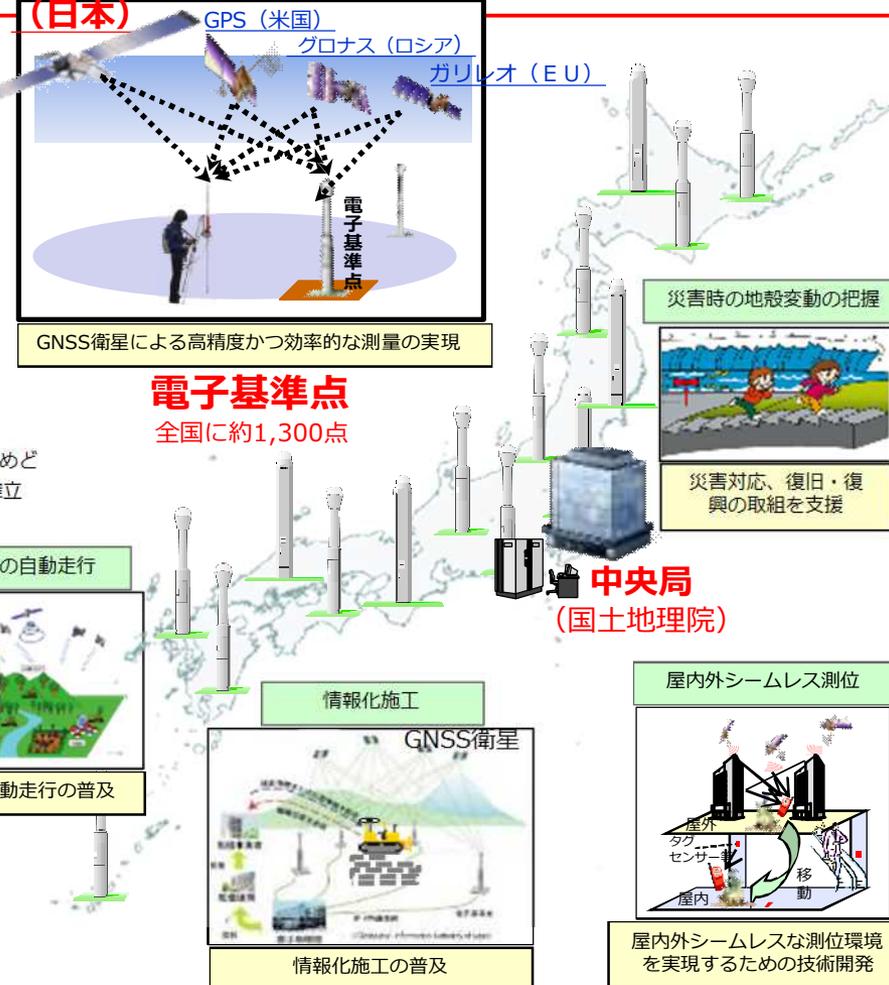
メッセージ機能

- 災害・危機管理通報（災害通報）
- 衛星安否確認サービス

準天頂衛星



準天頂衛星 GNSS連続観測システム



GNSS衛星による高精度かつ効率的な測量の実現

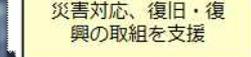
電子基準点
全国に約1,300点

中央局
(国土地理院)

災害時の地殻変動の把握



災害対応・復旧・復興の取組を支援



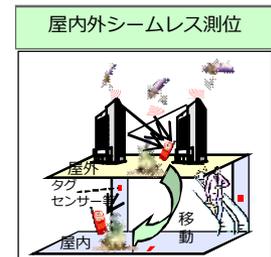
農業機械の自動走行



情報化施工



屋内外シームレス測位



農業機械自動走行の普及

情報化施工の普及

屋内外シームレスな測位環境を実現するための技術開発

年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32~H44 (2020~2032)
準天頂衛星 (2~4号機)		基本/詳細設計		整備	★	★	★		
初号機(みちびき)後継機			予備設計	基本/詳細設計		整備		★	2023年度めど 7機体制確立

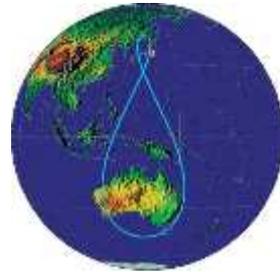
全国約1,300か所に設置された電子基準点によって常時観測されるGNSS信号を**リアルタイムな高精度測位**に活用。

全国常時観測により**いつでも・どこでも利用可能**。

今後、**移動体の自動制御にも活用**していく。

技術、制度、システム等の**海外展開**も進めていく。

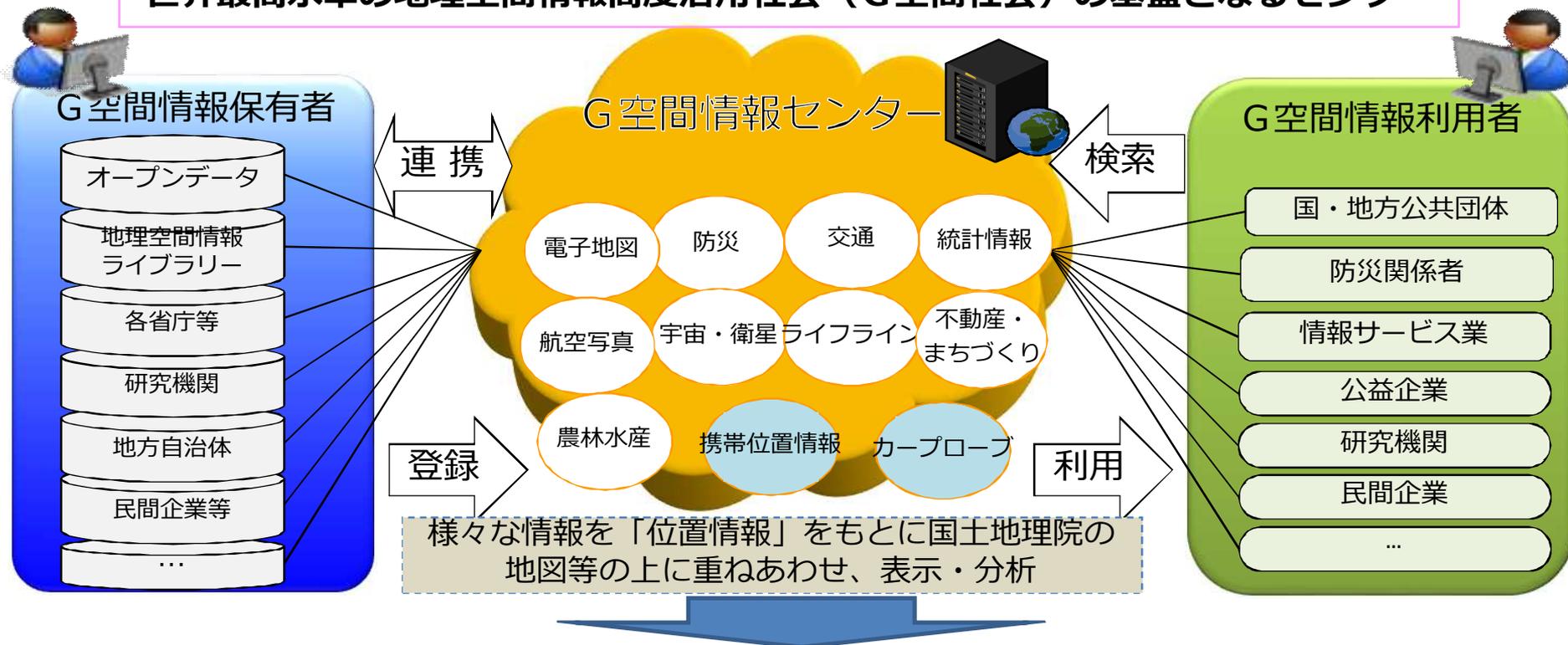
平成29年度中の準天頂衛星4機体制確立、さらに平成35年度（目途）の7機体制構築に向け、着実に開発・整備を進めていく。



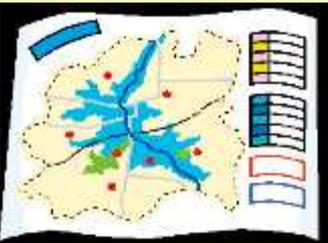
準天頂軌道衛星の地上軌跡
(衛星の地上直下点が描く軌跡)

G空間情報センターについて

世界最高水準の地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の基盤となるセンター



防災



災害発生状況、避難場所等

+



カープルーブ、コンビニ情報等

(リアルタイムな情報の重ね合わせ)

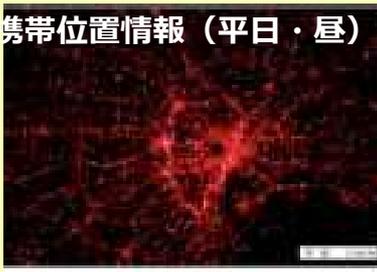
➡ 災害ボランティアの円滑な稼働の支援等

まちづくり、不動産



地価、人口、都市計画規制等

+



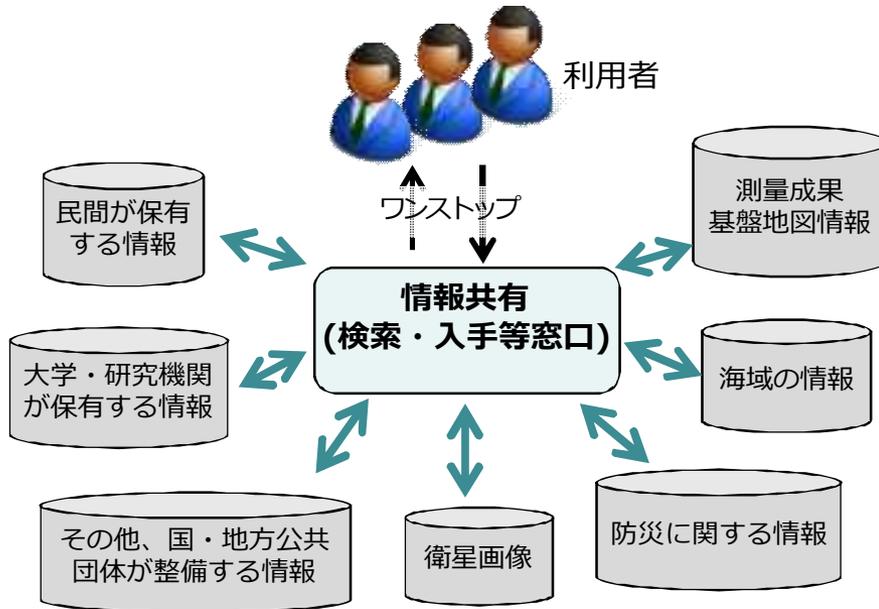
携帯位置情報（平日・昼）

時間帯毎の人流等

➡ 不動産取引、出店計画支援等

地理空間情報の共有と相互利用の推進

- 国や地方公共団体など、多様な主体によって整備された地理空間情報を相互利用が可能となる仕組みを構築



適切な整備・流通・利用のためのルール整備

- 標準化の推進
- 個人情報の保護、データの二次利用等への配慮
- 国の安全への配慮

関連主体の推進体制、連携強化

- 政府が一体となった施策の推進と体制整備
- 国と地方公共団体等との連携強化
- 産学官連携の推進

研究開発の戦略的推進

- 国の科学技術戦略の一部として体系的に実施

知識の普及・人材育成等の推進

- 引き続き、産学官の連携によりG空間EXPOを開催
- 活用推進を担う人材を育成



海外展開、国際的な取組との連携

- 実用準天頂衛星システムのアジア太平洋地域への展開
- 他の技術とのパッケージ化、海外へのソリューションの展開
- 国際会議やプロジェクト等への積極的参画



（第Ⅱ部 4. 地理空間情報の整備と活用を促進するための総合的な施策）

（1）地理空間情報の共有と相互利用の推進

地理空間情報の活用を推進するためには、各主体によって整備される様々な地理空間情報を、**利用者が容易に検索し、入手・利用できる環境の整備**が必要である。このためには、地理空間情報を、各整備主体の枠を超えて**社会全体において共有する仕組み**が必要となる。

このため、国は、国の各機関や地方公共団体など、多種多様な主体によって整備される地理空間情報及びその所在情報について、各整備主体の協力により、測量成果、画像情報、防災情報等、**データの特性・分野別にそれぞれ集約、管理、提供等を適切に行う**ための取組を推進する。

（中略）

また、このようにして特性・分野別に集約された地理空間情報について、利用者が**統合的にワンストップで検索・閲覧**し、情報入手・利用するために必要となる環境の整備・改良等を実施する。さらに、様々な地理空間情報を**二次利用等する場合に必要となる各種手続を容易に行うことができる**仕組みを構築する。

こうした取組と、研究機関やNPO、民間事業者等による情報の利用や研究開発等が相互に連携し、国、地方公共団体、民間事業者等が一体となって施策を推進することで、我が国における地理空間情報の共有・提供を行う**情報センターの構築**を目指す。

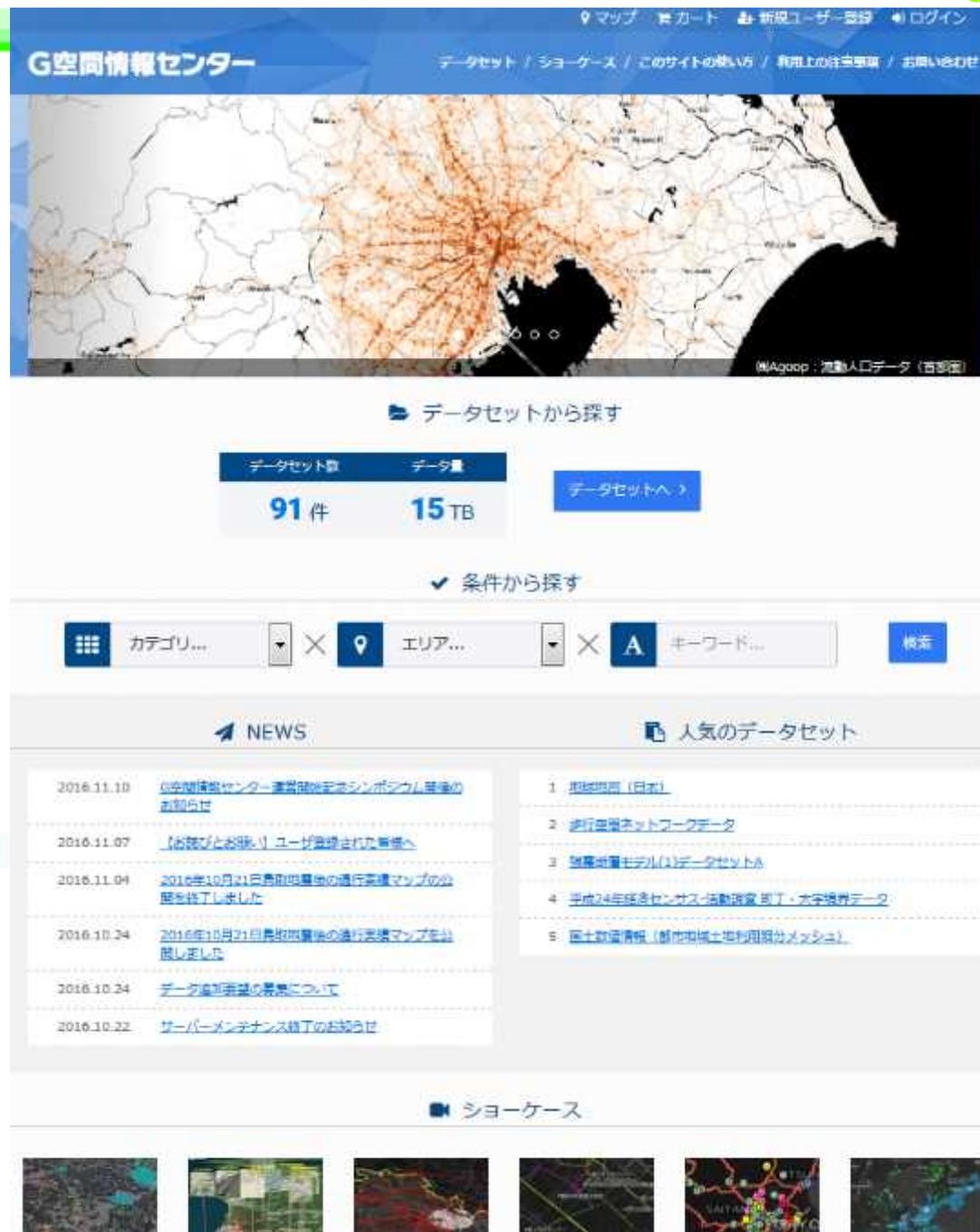
情報共有化に関する検討 ⇒ G空間情報センター構想

現在プレオープン中

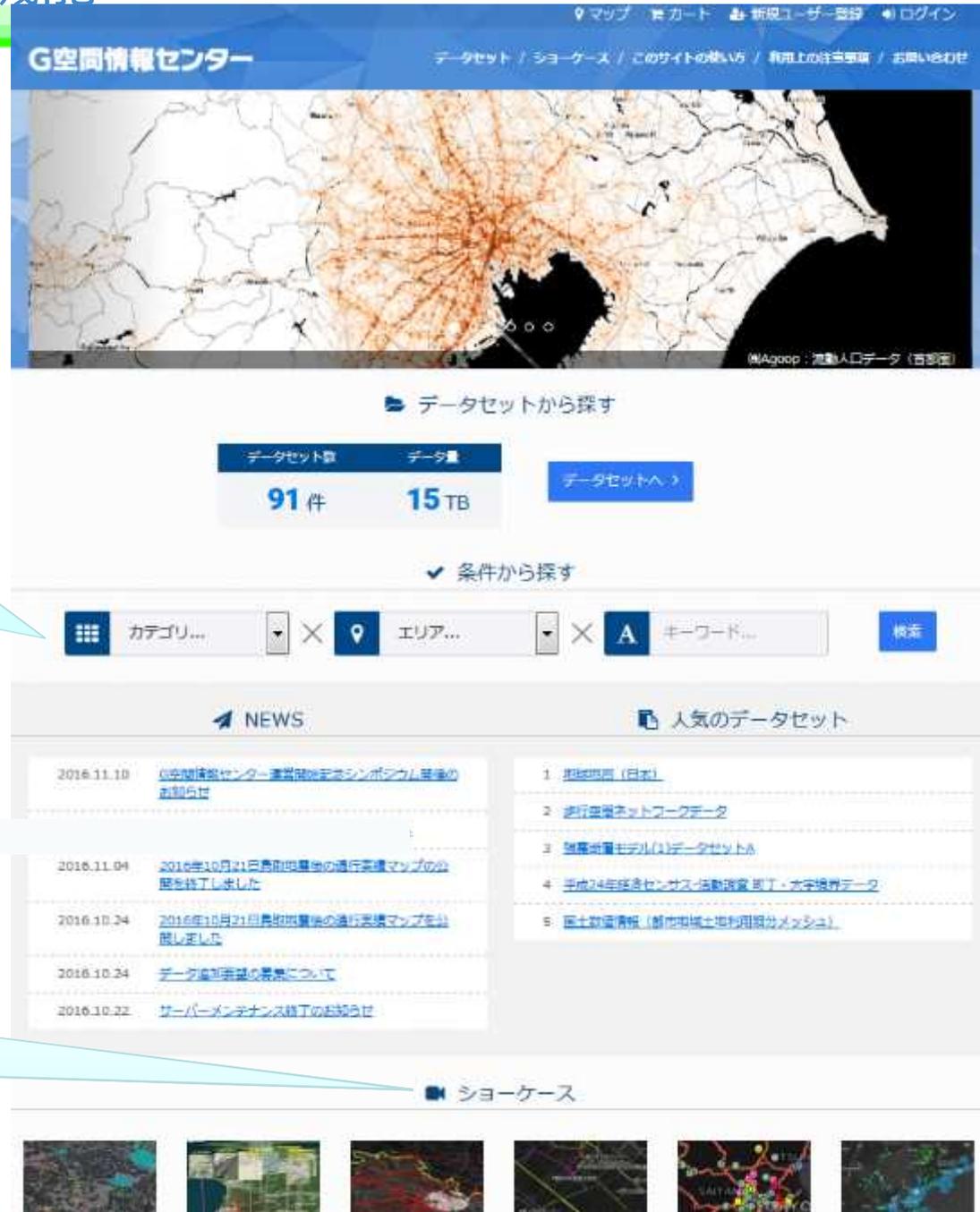
https://www.geospatial.jp/gp_front/

11月24日に正式運営開始

(G空間EXPO2016で運営開始記念シンポジウムを開催)



The screenshot displays the G Spatial Information Center website interface. At the top, there is a navigation bar with the site name and utility links like 'マップ' (Map), 'カート' (Cart), '新規ユーザー登録' (New User Registration), and 'ログイン' (Login). Below the navigation is a large map of Japan with a network overlay, likely representing a transportation or utility network. The main content area features a search section with a 'データセットから探す' (Search by Data Set) button and a table showing 91 data sets and 15 TB of data. Below this is a search section with filters for 'カテゴリ...' (Category), 'エリア...' (Area), and 'キーワード...' (Keyword). The 'NEWS' section lists several recent updates, including the official start of operations on November 24, 2016. The '人気のデータセット' (Popular Data Sets) section lists five items, such as '都道府県 (日本)' (Prefecture (Japan)) and '進行車両ネットワークデータ' (Moving Vehicle Network Data). At the bottom, there is a 'ショーケース' (Showcase) section with several thumbnail images of various data visualizations.



The screenshot displays the G Spatial Information Center interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'マップ' (Map), 'カート' (Cart), '新規ユーザー登録' (New User Registration), and 'ログイン' (Login). Below this is the main header 'G空間情報センター' with a breadcrumb trail: 'データセット / ショーケース / このサイトの使い方 / 利用上の注意事項 / お問い合わせ'. The central part of the page features a large map of Japan with a network of orange lines representing data. Below the map, there are search options: 'データセットから探す' (Search by Data Set) and '条件から探す' (Search by Conditions). The search filters show 'データセット数' (91 items) and 'データ量' (15 TB), with a 'データセットへ' button. The search input fields include 'カテゴリ...' (Category), 'エリア...' (Area), and 'キーワード...' (Keyword), with a '検索' (Search) button. Below the search filters, there are two sections: 'NEWS' and '人気のデータセット' (Popular Data Sets). The NEWS section lists several updates with dates and titles. The Popular Data Sets section lists five items, including '国土地理院 (国土地理院) 国土地理院 (国土地理院) 国土地理院 (国土地理院) 国土地理院 (国土地理院) 国土地理院 (国土地理院)'. At the bottom, there is a 'ショーケース' (Showcase) section with a row of six thumbnail images.

- カテゴリ
- エリア
- キーワード

でデータの検索が可能

- ショーケースの紹介



ショーケース



ショーケース一覧を見る

はたらくくるま

これは、公用車・公共車両の2ヶ月の稼働状況を1日に集約して可視化したものです。ここで利用しているデータは、兵庫県加古川市の公用車データ100台分のうち可視化用に車両9台を7種類に分類したデータをランダムサンプルしたものです。

【主な内容】

- パトロール系の公用車の稼働状況を表示
- 車両の走行経路を表示
- 用途で色分けをして表示
- 公共施設を表示

【使用データ】

- NICT「ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発」『はたらく車プロジェクト』～公用車等の軌道活用によるビッグデータ利活用モデルの構築～ - 兵庫県加古川市の公用車データ
- 国土数値情報 公共施設データ
- [国土数値情報 ダウンロードサービス](#)

【ベース地図】

- CartoDB Dark ("Dark Matter")
 - Map tiles by CartoDB, under CC BY 3.0. Data by OpenStreetMap, under ODbL
 - [CartoDB](#)
 - [\(c\) OpenStreetMap contributors](#)

【使用ツール】

- Cesium
 - Cesium is open source under the Apache 2.0 license.
 - Cesium is made possible by AGT and a growing contributor community.
 - [Analytical Graphics, Inc.](#)

• 内容

• 使用したデータ (ページからアクセス可)

地理空間情報の整備・更新

基盤地図情報・電子国土基本図をはじめとした**国土に関する基本的な地理空間情報**を整備・更新し、広く一般に提供する

電子国土基本図

基盤地図情報



内閣府、総務省、農水省及び地方公共団体と連携

地図情報の更新が迅速化



整備した
地図情報

地理空間情報の提供

国土地理院その他の国の機関及び地方公共団体等が測量で得た**地理空間情報**を総合的に検索・閲覧・入手・利用できるサービス「**地理空間情報ライブラリー**」を提供する。

収集・保管

各種
地理空間情報



基本測量成果



空中写真

検索

目録



メタデータ

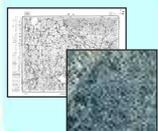


閲覧

地理院地図
(電子国土Web)



地図・空中写真
閲覧サービス



入手

基盤地図情報等ダウンロード



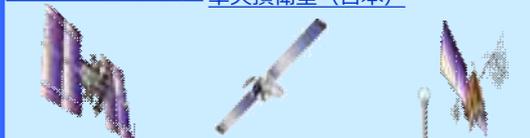
効率的な連携を
検討中

各種地理
空間情報

位置情報の把握・提供

全国に配置した電子基準点の確実な運用等を通じて、**正確かつリアルタイムに位置情報を把握し、提供する。**

GPS (米国) 準天頂衛星 (日本) グロナス (ロシア)



ガリレオ (EU)



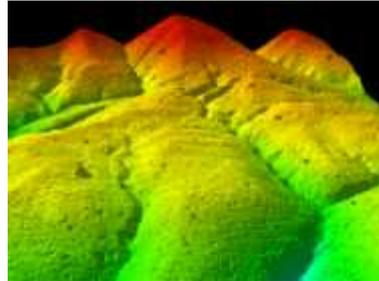
基準点の
位置情報

政府標準利用規約 (第2.0版) に従った「**国土地理院コンテンツ利用規約**」によりオープンデータとして提供

→ **G空間情報センター**で流通・活用



① 基盤地図情報 (基本項目)



② 基盤地図情報 (数値標高モデル)



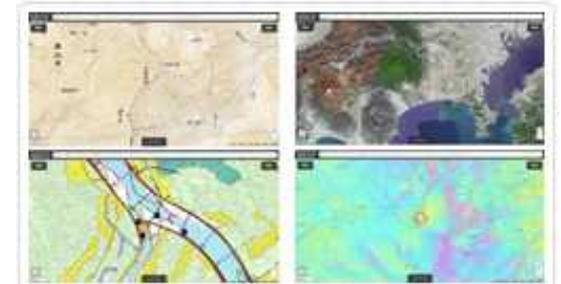
③ 地球地図日本
実データを登録



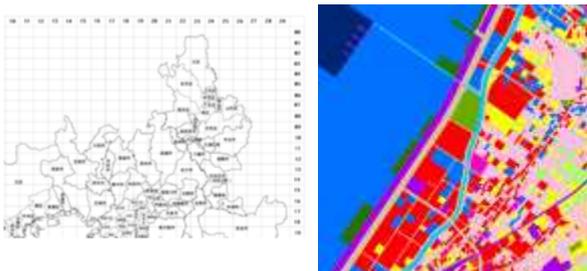
④ 数値地図500万 (総合)
日本とその周辺



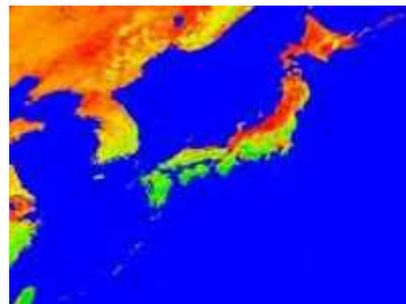
⑤ 地図・空中写真閲覧サービスの空中写真



⑥ 地理院地図のデータ (地理院タイル及び3Dダウンロードデータ)



⑦ 細密数値情報 (10mメッシュ土地利用)



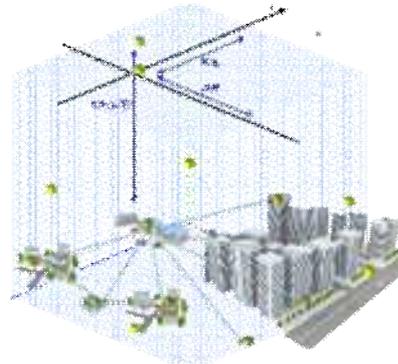
⑧ 植生指標データ (国土地理院)



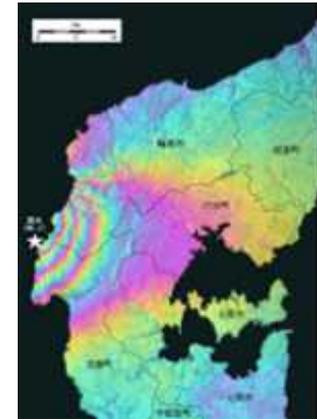
⑨ 地図・空中写真閲覧サービスの公共測量地図



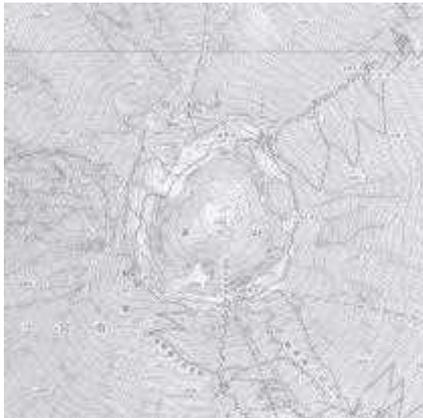
⑩ 電子国土基本図 (地図情報)



⑪ 場所情報コード



⑫ 干渉SAR関連情報



⑬ 火山土地条件図



⑭ 火山基本図



⑮ 防災関連情報



⑯ 湖沼湿原調査報告書

G空間EXPO2016

G空間EXPO2016公式Webサイト : <http://www.g-expo.jp/>

Geo spatial
G空間EXPO 2016
地理空間情報科学で未来をつくる

11/24・25・26 日本科学未来館 東京・お台場
[開催時間] 10:00-17:00 入場無料

PRE-EVENTS
今年は地方開催も!

仙台 10.5 水 仙台国際センター [開催時間] 10:10-17:20	大阪 10.25 火 大阪ATCホール [開催時間] 10:00-16:50
---	--

